

第3回 建設候補地選定専門部会 会議録

開催日時：平成23年12月14日（水）14時～16時

開催場所：町田市役所 森野分庁舎

出席委員：（敬称略）

松波淳也、稲木健志、百武ひろ子、金田剛、高木康夫、佐藤正志、富岡秀行、
大谷公二、高橋倫正、粕谷羊三

傍聴者：17名

《次第》

開会

1. 第2回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等
2. 市民意見募集の広報について
3. 今後の意見募集について
4. 意見募集等の結果（中間報告）と対応方針（案）
5. 事務連絡

閉会

＜配布資料＞

資料1：建設候補地選定専門部会 第3回会議資料

資料2：参考資料 ごみの資源化施設・建設候補地選定に関する市民意見募集の
お知らせチラシの回覧について（依頼）

チラシ「ごみの資源化施設・建設候補地選定に関する意見を募集します」

資料3：参考資料 広報まちだ11月11日号での広報内容

裏面：参考資料 環境広報11月21日号 eco まちだ

資料4：参考資料 11月9日記者発表資料

資料5：参考資料 町田市ホームページ掲載記事

資料6：参考資料 事例視察報告

資料7：参考資料 三浦バイオマスセンターからの質問回答

＜別添資料＞（前回までに配布）

- ・町田都市計画図
- ・町田市洪水ハザードマップ

＜当日配布資料＞

- ・当日配布資料1 第3回専門部会本編資料 1章(3) 第3回整備基本計画専門部会議事要旨
- ・当日配布資料2 第3回専門部会本編資料 3章(3) 広報骨子案
- ・当日配布資料3-1 第3回専門部会本編資料 4章(0) 意見募集結果の概要
- ・当日配布資料3-2 第3回専門部会本編資料 4章(1) 意見募集により得られた意見の概要
- ・当日配布資料3-3 第3回専門部会本編資料 4章(2)(3)
- ・検討委員会・作業部会で検討する項目確認リスト及び町田市資源循環型施設整備基本計画検討工程表
- ・カンポリサイクルプラザ見学記録

第3回 建設候補地選定専門部会議事録要旨

1. 開会

2. 第2回専門部会議事要旨及びご質問に対する回答等

〔断層について〕

(稲木委員)

防災課の話によると町田市には立川断層は通っていないとのことだったが、町田市は立川断層からどの程度離れているのか。

(事務局)

後日距離は提示するが、10km程度は離れていると思われる。

(金田委員)

断層の延長線上にある町田市内の場所では、東日本大震災の際にスーパーの立体駐車場のスロープが崩落して2人亡くなった。またそのスーパーの周辺でも、3軒の邸宅で屋根が崩れるということが起きた。断層に近接していないから関係ないということではないと思う。

(事務局)

建築物の強化等、総合的な対策をとっていきたい。

(松波部会長)

立川断層の周辺も危ないのか。

(宗田部長)

断層を通っていないということから安全か安全でないかは言えないと思う。スロープの事故を契機に見直しがなされるであろう大規模建築の基準等の動向も見ながら、施設建設にあたっては地震対策に最善を尽くすようにしたい。

〔三次選定以降のスケジュールについて〕

(百武委員)

スケジュールに関して、三次選定のプロセスに時間をかけるべきという意見は、どのように反映されたのか。

(田後部長)

意見交換の場を設ける、アンケートをとるなど、時間をかけることよりも内容を重視したいと考えている。

(百武委員)

今回の意見募集でも、もっと周知をしてほしい、期間が短いという意見がある。情報が拡がって、多くの人が参加できるようになるということもあり、最低限必要な時間というものがあると思う。ある程度の時間はかけるべきである。

(田後部長)

持ち帰って事務局で検討し、また部会に提案させていただくようにする。

〔工程表について〕

(百武委員)

工程表において「コミュニティ・市民参加」という項目がある。その中身は付帯施設に関する話である。現状の表現では、市民参加が2012年4月までは行われなくなってしまう。項目名を「ソフト施策」あるいは「プログラムについて」など、紛らわしくないものに替えるべき。

(田後部長)

ご意見を参考に、わかりやすくする。

3. 市民との意見交換会について

(田後部長)

全市民を対象に、7ヶ所で、2月16日から3月11日にかけて意見交換会を行う。1月12日の第4回専門部会で二次選定案の検討、三次選定の評価案の議論を行い、1月26日の委員会でその内容の確認をとる。その委員会の場で、それぞれの部会で用いている専門用語の理解や互いの進捗状況の確認を行い、その後検討委員会として意見交換会を行う。

〔意見交換会の追加開催案について〕

(金田委員)

施設整備について地域に説明をする場合、わかりやすく伝える必要がある。施設整備に関する説明会があってもよいのではないか。

(百武委員)

三次選定の評価が最も市民の関心が高いはずで、この議論をする際に意見交換の場を設けないのはおかしいのではないか。

(田後部長)

二次選定の項目に沿った内容を議論していく中で出てくる意見に関して、市民と意見交換をしたいというのが事務局案である。2月から3月にかけての意見交換会で、三次選定の評価方法案もお出ししたい。資料で示している進め方はあくまでも案なので、変更は可能である。

(百武委員)

丁寧にやるなら二次選定、三次選定それぞれの後に意見交換会をするべきで、一度しか意見交換会を行わないのは非常に疑問である。意見交換会の目的がはっきりしない。

(田後部長)

三次選定の素案が出来た段階で、候補地周辺の住民に絞って意見交換する場を設ける予定である。資料に示してある「建設候補地選定の進め方」のフローはあくまで全市的なもので、全市的には意見交換の場は一度設けるとご理解いただきたい。

(百武委員)

三次選定の評価の際に候補地周辺の住民との意見交換会を設けるなら、そのことを「建設候補地選定の進め方」のフローに入れていただきたい。

〔他市の市民の意見の取り入れ方について〕

(佐藤委員)

他市の市民も意見募集に際して意見を寄せている。数年前のプラスチック施設建設の話でも相模原市側で反対運動があったということを知っている。相模原エリアで意見交換会はしなくてよいのか。

(内山次長)

意見交換会の参加者を、町田市民に限定するつもりはない。市外についてはホームページ等での広報で対応する予定である。

(佐藤委員)

相模原市の広報誌を活用できないか。

(内山次長)

相模原市の広報誌にはイベント案内の掲載の実績しかない。広報課に確認し、できるのであれば活用していきたい。

(田後部長)

他市の市民の意見も意見交換会で取り上げるようにしていきたい。

(高橋委員)

他市への広報について、ふじみ衛生組合と世田谷清掃工場が近隣市区にどのような話をしたかを聞くことができれば、参考になるのではないか。プラスチック施設の際に八王子市が反対したということもあり、建設候補地が隣の市に近いと手戻りになるのではないかということを懸念する。

(内山次長)

ふじみ衛生組合の場合は、運営協議会で地域に情報を浸透させていった。運営協議会には、三鷹市、調布市両市の委員が入っている。事務局で一度確認する。

(田後部長)

近隣の市に対する周知の仕方を事務局で考えていきたい。まだ一次選定、二次選定の段階であるので、このような検討を行っているということは周知していきたい。三次選定の評価の方法の前に絞りこまれた候補地が他市と隣接していれば、その市に対しても説明する必要があると思う。

4. 意見募集等の結果（中間報告）と対応方針（案）

(百武委員)

地域として立候補しているならともかく、個人が適地として推薦している場所を部会で議論すべきものか疑問である。その地域に関係ない人が提案したものを取り上げるのはバイアスがかかるのではないか。選定条件を満たしているかの精査は必要ないと思う。

(事務局)

個人が提案している適地を特別扱いすることはしない。

(大谷委員)

小山田地区には町田市が所有している遊休地があるが、条件づけや擦り合わせはされているのか。

(内山次長)

一次選定はあくまで法的条件なので、今後やっていく。

(百武委員)

意見募集で寄せられた意見の内容を整理してもらうことは可能か。

(事務局)

意見募集で寄せられた意見を整理し、次回提示する。

5. 事務連絡

今後の予定は以下の通りである。

- ・次回専門部会：1月12日（木） 10:00～12:00 リサイクル文化センター 研修室
- ・建設候補地域の見学会：1月16日（月） 12:30 町田市役所本庁舎集合
- ・検討委員会：1月26日（木） 16:30～19:00 リサイクル文化センター 研修室

6. 閉会